

令和5年度
事業報告書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

社会福祉法人 入野福祉会
特別養護老人ホーム 大仙園

特別養護老人ホーム大仙園 事業報告

事業活動総括

前年度に(令和4年)職員不足の課題と共に、待機者、入所者不足も深刻な課題を残しました。よって、今年度は、待機者不足(空床期間の短縮)を早急に解決するよう活動しましたが、平均稼働率は従来型 83%、ユニット型 92%であり、従来型の空床が目立ち満床にしきれないままで新年度を向えることになりました。また、入院者も4人増し、入院期間も前年度に比べ、157日(延べ日数)も長期化しました。

職員に関しては、常勤職員が5名退職し、退職者の中には、勤続年数7年～13年のベテラン職員の退職者が含まれており、サービスの質の低下が懸念されます。

サービスの質を維持できるよう看護職員、介護職員が協働し入所者様の支援を継続していくことが肝要です。

次に、感染症の発生状況ですが、1階従来型において、7月と1月に「新型コロナウイルス感染症」の発生があり、7月は10名の罹患者、1月は12名の罹患者となりました。

新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけされた以降、職員の感染予防策に気のゆるみが生じた結果であると考えます。

高齢者の感染は、重症化しない場合であっても、感染をきっかけに体調の変化が生じ「死」に至ることが少なくありません。入所者様の健康の維持増進のためにも、緊湊一番で感染予防に努めます。

そして、11月に法人指導監査がありましたが、事業展開の透明性が明確であり、軽微な指導のみで終わりました。

最後に、施設裏山の急傾斜地の工事が予定通り完了しました。

6年前のケアハウスの土砂災害が思い出されますが、今回の工事により土砂災害の発生は回避できるであろうと安心です。しかし、世界各地で地震や豪雨など災害が増加している中では、災害に備えて「災害時の事業継続計画の策定」(BPC)が義務付けられています。今後何らかの災害に襲われても強固な組織運営ができるよう職員一同災害対策への意識を高め、事業継続の使命を果たせるよう努力します。

<施設理念>

特別養護老人ホーム大仙園は「笑顔のありがとう」をいただける「笑顔のあたりまえ」を基本理念として、日々の入所者の生活を支えます。

利用者とそのご家族の皆様から笑顔をいただけるよう「思いやりのこころ」で支援に努めます。

<基本方針>

1. 入所者のニーズの充足に応え生活の質の向上を目指す。
2. 人材育成に取り組み、職員の知識、技術の向上及び業務の改善に努める。
3. 地域との連携を強化し、入所者はもとより地域における福祉の充実に貢献する。

<重点目標>

1. 入所者のサービス向上

- ・施設理念に基づき、入所者が自分らしく笑顔で生活することを支援します。
- ・介護を中心に多職種が連携し、入所者が安全で安心して過ごせる生活を提供する。
- ・入所者の個別性の理解を深めるとともに、個々に応じた目的のあるケアを実践する。
- ・入所者の身体的・精神的状態を把握し、協力病院と連携し疾病予防に努める。
- ・居室の整理整頓に努め、快適な生活を送っていただけるよう配慮する。
- ・感染症予防対策の知識、技術の向上を図り感染症対策を実践する。

2. 人材育成

- ・各種委員会や研修会の積極的な参加を促し、専門性のある知識の習得や技術の向上に努める。
- ・自ら考えて行動する人材を育成する。
- ・中堅社員の育成と組織体制の強化。
- ・統制のとれた組織運営を目指し、組織力とチーム力の向上を目指す。

3. 地域連携、医療連携

- ・地域の施設及び病院などとの連携を強化し、地域の期待に応えられる施設を目指します。
- ・地域のニーズに応える施設であるために、地域交流の拡大と地域福祉の充実に貢献する。

< 事業活動状況 >

図 1



図 2

単位:人



図 3

単位:人

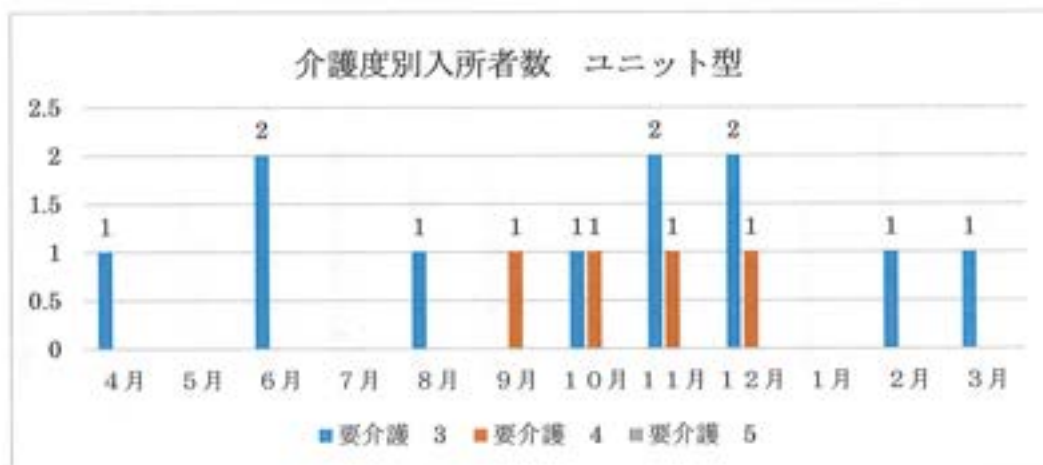


図 4

単位:人

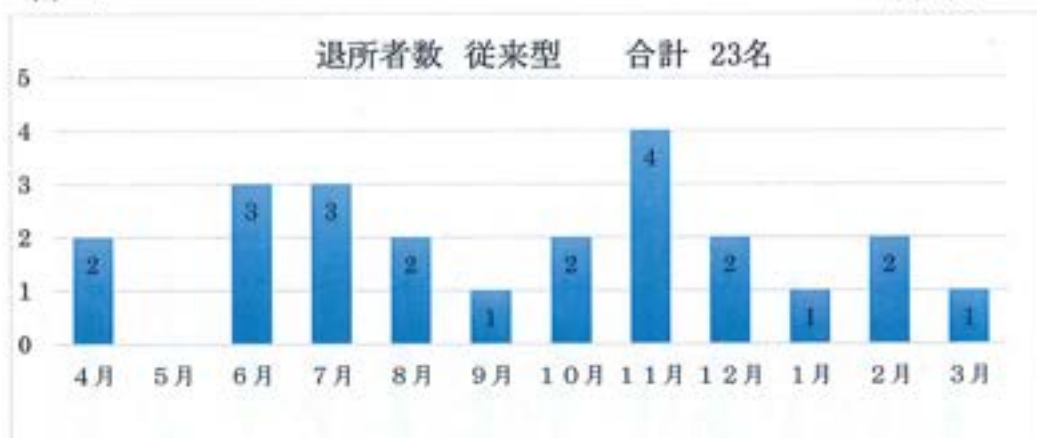


図 5

単位:人

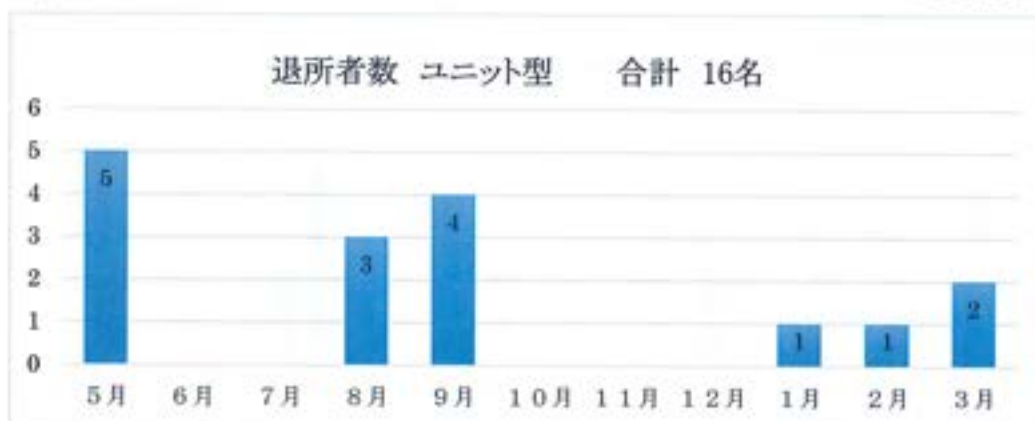


図 6

単位:人

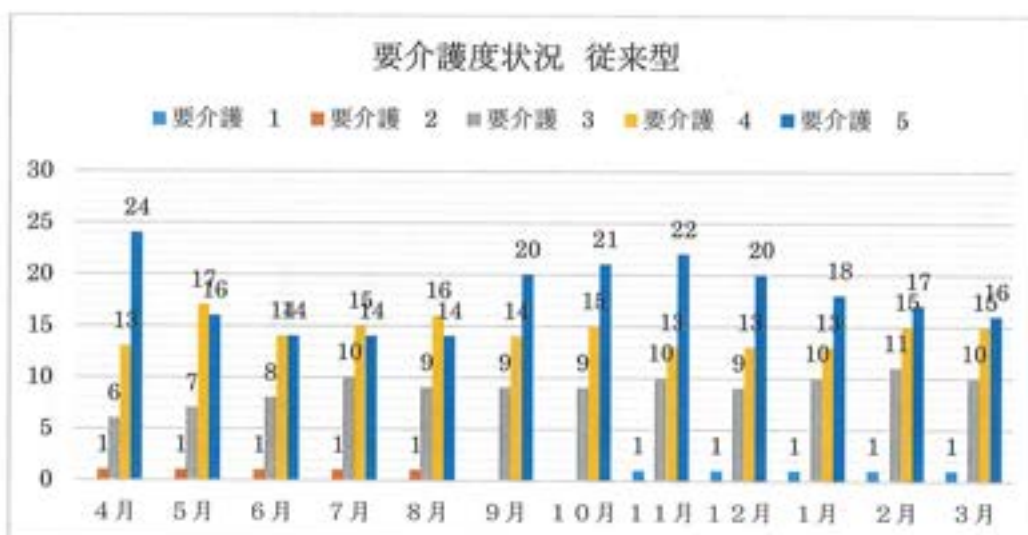


図 7

単位:人

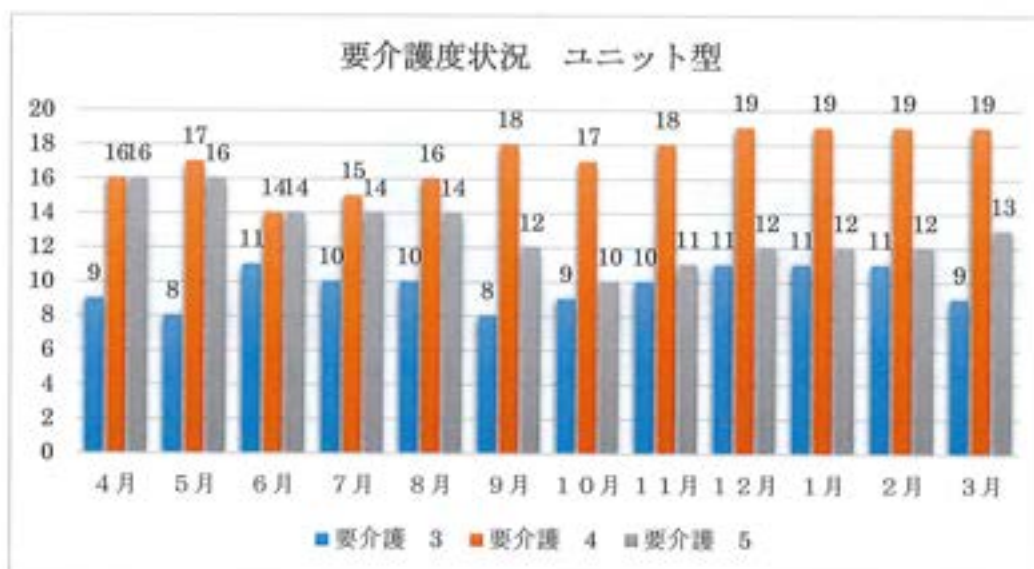


図 8

単位：日



図 9

単位：日



図 10



図 11

単位:人

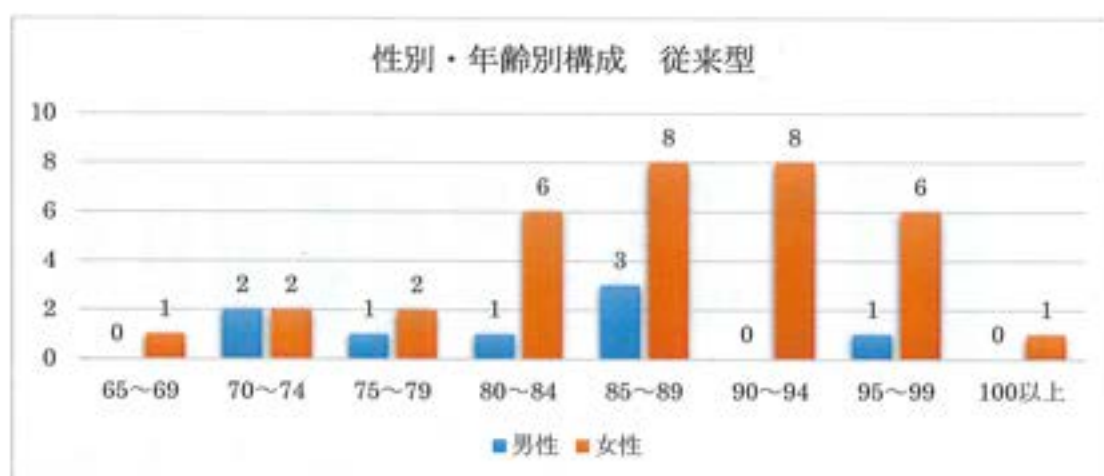


図 12

単位:人

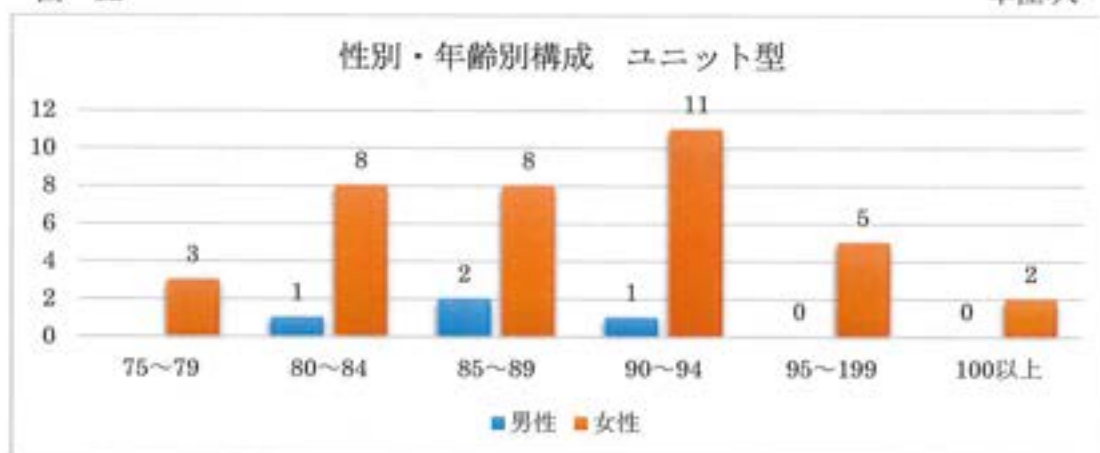


図 13

単位:人



図 14 単位:人

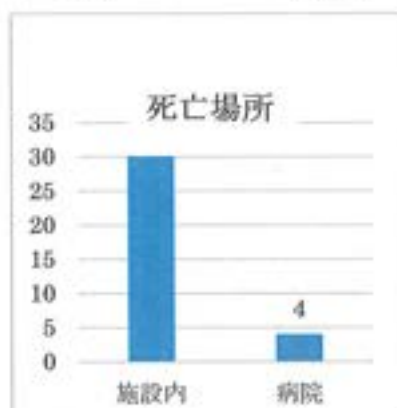
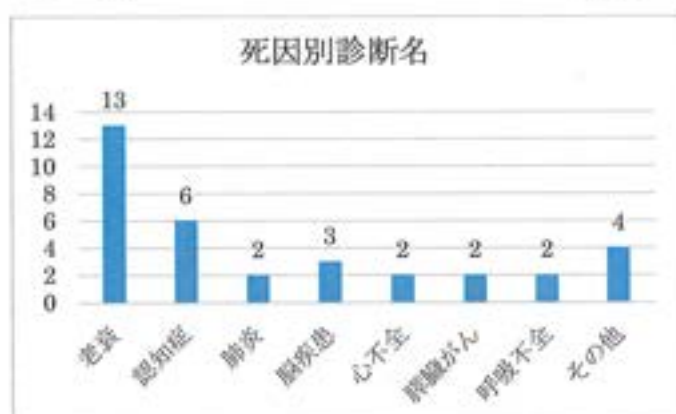


図 15 単位:人



<部門別事業報告>

◆ 介護サービス部門計画（従来型）

1. 感染源の持ち込み、感染の拡大を予防するため、日頃より予防意識を高め感染症を未然に防ぐ為に標準予防策を遂行する。
2. 入所者が楽しく、安心、安全に生活していただけるよう安全衛生管理に努め、事故防止につながる個別的なケアの提供に取り組む。
3. 積極的にICTを活用し、介護記録、情報共有を円滑に行い業務の効率化を図ることで、入所者の思いを汲み取り、直接的な支援を充実させ満足していただける良質なサービスを提供する。
4. 個人目標を設定し、リーダーとコミュニケーションをとり介護職員としての人材育成に努める。

評価

まずは、感染症の発生について、7月と1月の2度も集団発生が起きました。あきらかに職員がウイルスを持ち込んだ結果であり、新型コロナウイルスの類型が5類に変更し、感染対策への気の緩みによるものと反省しました。新型コロナウイルス感染症の罹患により、運動機能の低下、活動量の低下を招き、介護度が増した入所者もおられた。今後は、感染症の流行の有無に関わらず、日常から予防策を継続し感染予防に努めます。

次に事故防止ですが、誤薬が短期間の間に3件ありました。入所者の氏名の確認行動を怠ったことにより事故が起きましたが、幸い人体への影響は殆どない内服薬であったため大事にいたりませんでした。その後は、声に出し確認をすることで、集中力、危機意識を高め安全な服薬介助を行っています。

人材育成に関してですが、個人目標を設定し自己啓発を促しました。引き続き個人目標、チーム目標が達成できるよう、リーダーを中心に責任感や職業意識の向上を目指し取り組みます。

◆ 介護サービス部門計画（ユニット型）

1. 入所者様にとって、その人らしい日々の生活を送ってもらえるように、本人の意向を尊重し個別ケアを実践していく。
2. 感染症を未然に防ぐ為、標準予防策を徹底し、感染源の進入防止に重点を置くとともに、感染した際には感染拡大を防止する為の対策を実施していく。定期的に感染症対策の講習を行い有事に備える。
3. 報告、連絡、相談を徹底し、いきいきとした働きやすい職場作りを行う為に職員同士のコミュニケーションを重要視し、職員の質を向上していく。
業務支援ソフトウェアの導入により、業務管理の一元化を行うことにより、事務作業の効率向上を図る。
4. 入所者様の心身の状態に合わせ負担の掛からないような介護を行い安全な環境作りを推進し事故防止に努める。

評価

ユニットケアの特徴の、個人ケアの実践に対応しきれない場面が見受けられました。認知症状が進行された入所者様に対し、業務が優先的になり職員の気持ち優先されたり、声のトーンが高まったりする場面もありました。
今後は、入所者様の意志を尊重し、入所者様の想いを汲めるようなゆとりある生活環境創りに取り組みます。

次に、事故事案に関して、骨折がありました。また、転倒により頭部を強打された事案があり、防ぎきれない事故の発生がありました。行動感知センサー等を適切な入所者様に使用し、事故を未然に防ぐことができるよう、職員間での相談、情報共有に努めていきます。

【入浴状況】

図 16

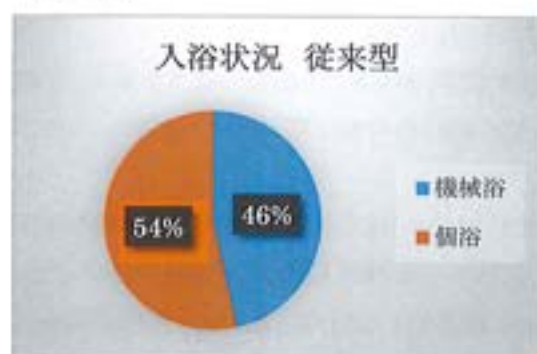


図 17



【排泄用品使用者状況】

図 18



図 19



【移動時祉用具使用状況】

図 20

単位:人

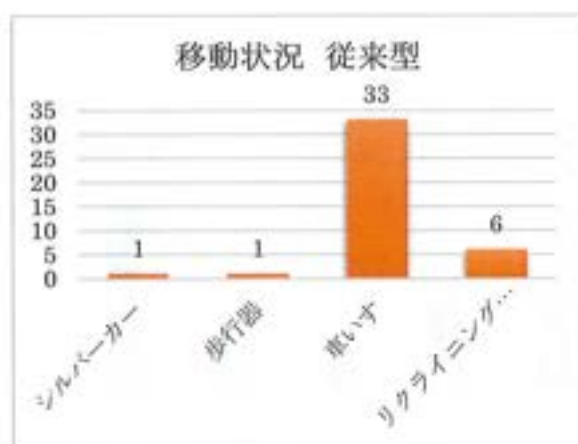
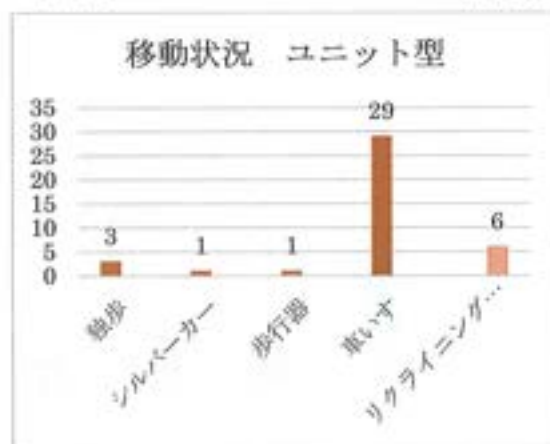


図 21

単位:人



◆ 看護部門計画

1. 入所者が安定した生活が維持できるよう感染予防の知識、技術を介護職員に浸透させ感染症の発生を予防する
2. 入所者の日々の健康状態の観察を行い、変化が見られた時には早期の対応をすることで病状の悪化を予防する。
3. 介護職員が安心、安全な医療的ケアが実践できるよう医療的ケアマネジメント能力の維持をサポートする。
4. 看取り介護において看取り同意から最期の時まで、多職種協働で利用者とその家族が良かったと思えるような関わりを持つ。

評価

今期も新型コロナウイルス感染症が発生しました。朝・昼・夕の検温を行い異常の早期発見に努めました。一人が罹患された場合には集団感染してしまうため、何とか感染者を最小限に止めることに尽力しました。新型コロナは感染力が強いものの、ウイルスの変異に伴い重症化はし難い特徴があり、2～3日の発熱と咳の症状で軽快されました。来期は、日常生活での基本的な予防法を遂行し、ウイルスを持ち込まないよう注意喚起していきます。

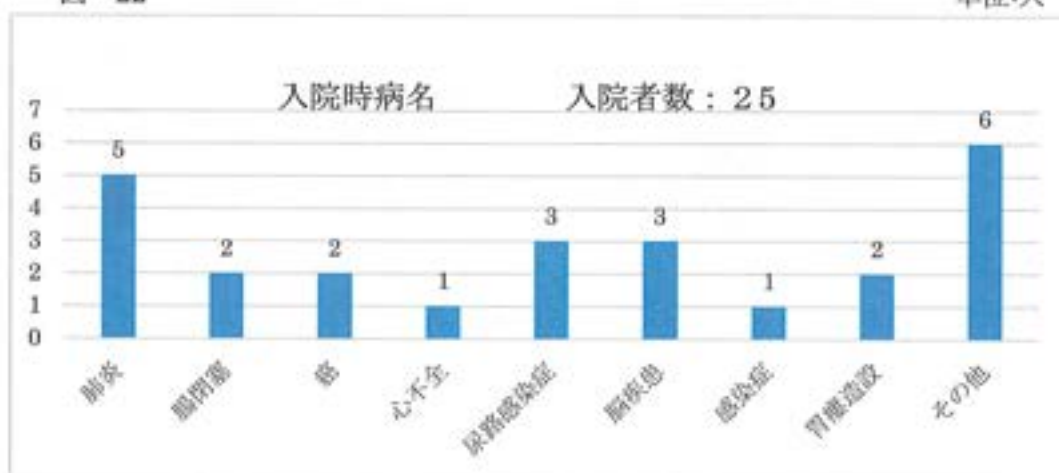
次に、入院者数ですが、25名と前年度に比べ3名多い状況でした。入院期間も前年度より更に長期化し、長期入院により退所された方が4名おられ、この長期入院者を減少させるよう早めの受診、治療をすることで重症化を防ぐようにします。

「看取り介護」に関しては、多職種の協力で取り組みました。最期の時期を見極め、ご家族へ差し入れをお願いしたり、面会に来ていただいたりと、ご家族との時間を持っていただけるよう早めの対応をし、本人、ご家族に喜んでいただきました。今後も入所者、ご家族に喜んでいただけるような関わりを持ち、「看取り介護」の満足度を高めてまいります。

【入院者数と入院時病名】

図 22

単位:人



【個人別入院日数】

図 23

単位:日



図 24

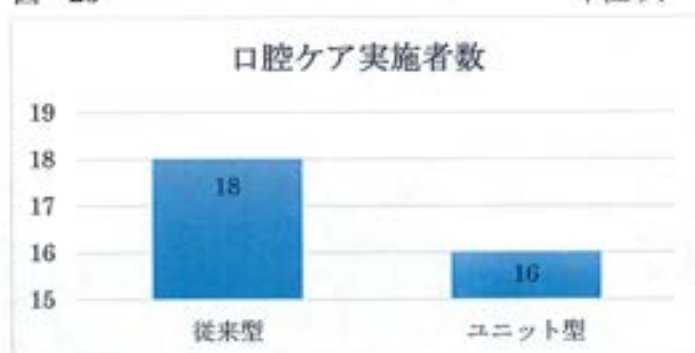
単位:日



【歯の健康ドクターによる口腔ケア実施者】

図 25

単位:人



【感染者数】

インフルエンザ感染症、ノロウイルス感染症の発生はありません。

新型コロナ感染症罹患患者数(従来型のみ)

1 月	10名
7 月	10名

【ワクチン接種者数】

図 26

単位:人



◆ 機能訓練部門計画

1. レクリエーション的要素を取り入れた機能訓練を実施し、「楽しみながら行う機能訓練」を目標に取り組み、残された活動能力が維持できるようアプローチする。
2. 他部門との協働のもとで、生活リハビリを重視して、自立支援を目指した訓練計画内容を実践する。
3. 理学療法機器(マイクロ波・ウォーターマッサージ等)を活用し入所者の心身のリラックス効果を図る。

評価

入所者様個々の身体機能の観察を行い、残存機能の低下を招かない様生活での日常動作の維持に努めました。また、コミュニケーションロボットを使用し、認知機能にも働きかけ、楽しく過ごしていただきました。

10月より、株式会社「ツグハグ」の作業療法士3名が週2回来られ、機能訓練やレクリエーションをされるようになり、変化のない生活で認知症状が進行される方も少なくない中、入所者様は、日頃見られない笑顔や、活発に身体を動かされ、充実した日が多くなりました。

今後も、リハビリ専門職と協力しながら、身体、認知機能へのアプローチをし、楽しみながら訓練をしていけるよう取り組みます。

【集団レクリエーション状況】



【個人訓練状況】



◆ 栄養サービス部門計画

1. 行事食の実施や旬の食材を使用し、季節を感じていただける献立を提案し、入所者の皆様に喜んで食べていただける食事の提供を行う。
2. 食中毒を発生させないよう、委託業者と協力し衛生管理の徹底を図る。
3. 介護・医療と連携し、低栄養状態の方を抽出し、低栄養状態が予防できるよう、食事形態や食事量、栄養補助食品等の検討を行う。

評価

日清医療食品の栄養士と連携をとり、旬の食材を取り入れ、行事には季節感を感じていただけるようメニュー作成を行いました。特に敬老会や、お花見時には弁当箱を使用し、何時もの器と違った食事を提供しました。また、メロン、梨、苺等季節のフルーツやアイスクリームを提供でき、見た目にもこだわったメニューを工夫し喜んでいただけたことが良かったです。

厨房内の衛生管理については、定期清掃を行い清潔な厨房を維持していくよう衛生管理に努めていきました。

栄養ケアマネジメントについては、入所者の低栄養等予防できるよう多職種と連携して食事量、食事形態の変更や栄養補助食品の提供を行うことで低栄養は改善できた入所者もおられました。

毎日入所者の食事状況を確認することで（ミールラウンド）食事状況の把握ができ、メニューの評価なども聞くことができ、栄養マネジメント、嗜好の把握につなげることができるとため今後も継続します。

図 27

単位:人

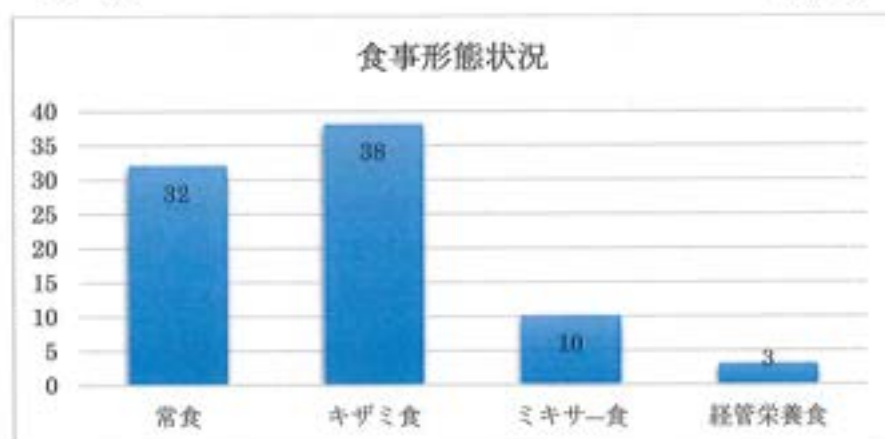


図 28

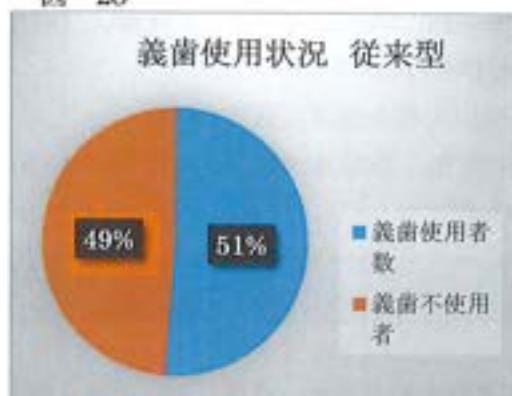
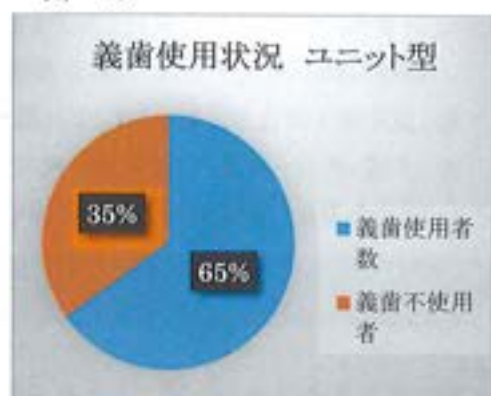


図 29



◆ 生活相談サービス部門計画

1. 入所者の個々の心身状態や家族関係生活環境等の情報の収集を行う事で、本当に必要なニーズを摸索すると共に、ご利用者様本位の施設サービス計画の作成とその遂行の確認によって、自立の援助と生きがいの高揚や、身体状態に応じた活動の推進、生活環境の整備、入所者間の交流の増進等を念頭に置いて、ご利用者様及びご家族様に満足感を感じていただけるような支援ができるように努める。
2. 入所に関して、個々のケースによる様々な状況を具に確認し、必要な情報を効率と効果を考慮しながら、普遍的な待機者の確保に努める。また、継続した入所判定会議を開催し多職種の合議体による意見交換や審議により、円滑且つ有意義な包括的なケアの提供が可能となるように取り組んでいく。
3. 大仙園の持つ機能とその役割について、地域住民や各関係機関へご理解をいただくことで、要介護高齢者に関する相談窓口として最優先で選択をしていただけるように、個々の案件について真摯に向き合い、可能な限り要望やニーズに対応できるように勤しむ。

評価

入所者にとって、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大によって日常生活に多大な影響が生じ、本来のサービス提供に係る行動や活動範囲等にも制限を設けざるを得ない状況が続き、またご家族との面会や一時的な外出や外泊等も殆どできない状況でした。この中で、ご家族との意見交換や情報共有による関係性の構築が従前よりも希薄となりやすくなり、またご入所者の個々のニーズや要望については環境的に実現が困難なケースが生じ、こういった状況の下で満足感のある生活を実現していただけるために提供できる事は限りがあり、入所者にとっても職員にとっても精神的に辛酸を嘗めるような思いになる事は少なからず生じたように思われます。

また、待機者の確保については、各関係機関からの情報提供や問い合わせに対して真摯に対応し、速やかに入所申込まで繋がるように対応しましたが、絶対数の減少は否めない

状況で、地域における総合的な需要と供給のバランスが均衡になりつつあるように思われます。今後はますます施設固有の魅力や、ストロングポイントをわかりやすく且つ効率的な方法で広報していくことに留意して、入所までの敷居が低く親しみを持ちやすい雰囲気を醸し出せるように、非言語コミュニケーションやインテーク技法(面談)についてもより質の高い技術を身に付けていく必要があります。いずれにしても、施設理念でもある「笑顔のありがとう」をいただける「笑顔のあたりまえ」の考え方が施設内だけで留まらず、各関係機関や地域からしっかりと認識されて、承認を得られるように、より一層精進していく必要があります。”

◆ ケアマネジメント部門計画

1. 個々の入所者に係る情報や意見交換を綿密に図ることで、個別のご意向や心身状態を職員全体で共有し、目標やニーズが充足できるようなサービスの提供ができ得るように、包括的な調整に最善を尽くす。
2. カンファレンスに伴う多職種連携を通じて、精度と満足度の高いアセスメントに取り組み、各専門職の視点とご本人様及びご家族様の現況を鑑みて、丁寧且つ綿密な施設介護サービス計画の作成に活かしていく。
3. ケアマネジメントが有効且つ適切に機能するために、質の高いサービスの標準化に取り組み、洗練されたチームケアの提供が継続して行われるように努める。
4. ケアマネジメントの過程において、できるだけご本人様及びご家族様と面談を行い、内容について十分に説明する機会を設けて承認を得ることで、満足度の獲得と信頼関係の構築が可能となるべく対応を行う。

評価

入所者にとっての精神的な満足度や安心感等を得られる手段として、継続したご家族との時間の共有や、季節感を感じられるような外出等の重要且つ効果的と思われることについて、感染症の拡大などの社会的な事由により、このことが提供できない生活が継続していた中で、日常生活そのものが閉塞性が高く、個々の活性化が図りにくい状況でした。このような状況下の中で、施設として提供が可能なケアについて、施設スタッフ間で問題を共有しながら、より専門的な見地で、円滑且つ効果的に遂行できるように検討を重ねました。今後も社会情勢を鑑みながら、入所者にとって「必要なこと」と「実現可能なこと」は分別して考慮することなく、「必要なことは可能なこと」として捉えるようにしていくことで、より満足のいく施設生活が提供できるように取り組んでいきたいです。

- #### ◆ 事務部門計画
1. 事務所内の個々の業務を遂行し、事務業務の向上に努める。
 2. 施設の顔として、明るい事務所づくりを目指し接遇向上を目指す。
 3. 職員の人材確保に努める。

特養とケアハウスの担当制とし、法人監査においても日々書類整理をそれぞれが行っていたことで大きな指導を受けることなく終えることができました。

人材確保に関しては、ハローワークの求人はもちろん、派遣会社との関わりを持ち職員確保に努めた結果数名入職されました。今後は、ホームページも更新し人材確保に努めていきます。

◆各種委員会報告

【安全対策・事故防止委員会】

今年度の重大事故（骨折）は、ユニット型2件であり入所者の方には苦痛を与えてしまい、予防できたのではないかと悔やまれるばかりでした。そして、薬剤に関する事故があり、幸い入所者には変化はなく経過されました。直ぐに対応策を検討し、実行しています。

ヒヤリハット・事故発生時には、発生状況、原因等を直ぐに取りまとめ、対応策を実践しています。さらに毎週月曜日に従来型、ユニット型それぞれ検討会を行い対策について相談しています。安全対策委員会、事故防止対策委員会では、ヒヤリハット・事故報告書を集計し、事故発生時の状況等を全職員に事案紹介、再検討を行う防止対策の意見交換の場を設けました。しかし、対策に対しての評価ができていないことや職員個々の危機意識が低い事から、同じ入所者の同じ事案があがり検討しただけの結果になることが何件かありました。次年度は、入所者の生活スタイル、細かな行動を把握し、事故発生原因を予見・想定すること、ヒヤリハットなどの気づきを増やすことで、重大な事故にならないよう介護事故発生の未然防止に繋げていきます。

図 30

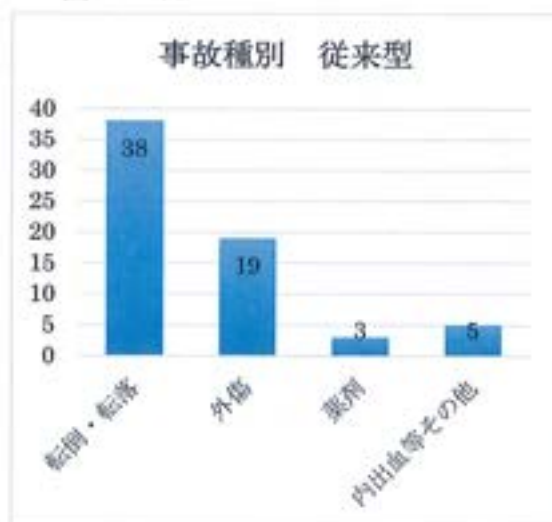


図 31

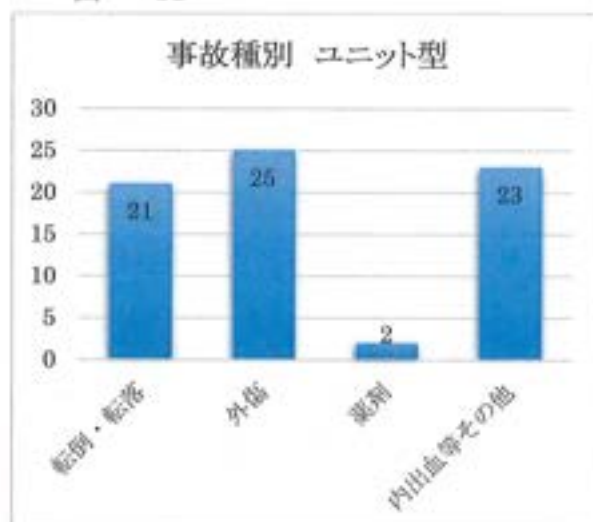
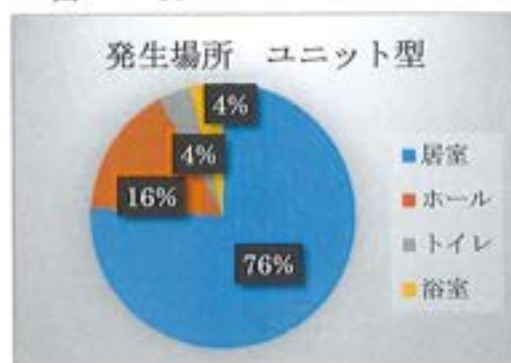


図 32



図 33



【感染症委員会】

今期は、7月と1月に従来型において新型コロナウイルス感染症が発生しました。感染症の予防については、年4回の委員会開催と年2回の研修会を行い、新型コロナウイルス感染症発生時のシミュレーションも実施し感染症についての知識・技術の向上に取り組み、これらの取り組みにより感染者の対応を実践しました。やはり、ウイルスを持ち込むのは職員であるため、来期も職員の自己管理を十分に行うよう日常の手洗い、手指消毒、換気、環境面の衛生を保つ等継続して感染症を発生させないように努めます。

【身体拘束・虐待防止委員会】

委員会は1回/3ヶ月、研修会は2回/年開催し、身体拘束や、虐待がなぜ起こるのか等の原因、要因について学習し、ストレスがかからないようゆとりある業務を行えるよう取り組んできました。虐待については、自身が自覚しない言動を職員間で振り返り、入所者の人権擁護と一人ひとりの自立した日常生活を保障するためにケアの本質を検討し、今後も身体拘束ゼロ、虐待ゼロを念頭に入所者の生活を支援します。

【褥瘡対策委員会】

研修会を2回/年、委員会も2回/年行い、各職員が褥瘡に関する知識を深め、褥瘡を作らないケアや早期発見できる力を身につけるよう取り組みました。

入所者個々の計画書を作成し、職員間での話し合いの時にはケアの内容を評価し、検討しています。

従来型の入所者1名が2ヶ月程度の処置を行いました。その他は軽度の方が数名おられましたが数日で治癒されています。今後も、職員間でケアを評価し、適切な予防をすることで褥瘡の発生を防ぎます。

【排泄検討会】

1回/月話し合いを行いました。個々の排泄用品の検討や、排便コントロールの統一等について意見を出し合っています。清潔保持をすることで、感染症を防ぎ、健康管理にも役立つ

よう活動しましたが、尿路感染症が減少しないことが今後の課題です。

車椅子寄贈

マツダOB会より、車椅子を寄贈していただきました。入所者の皆様は殆どの方が車椅子を使用し移動されています。一台でも多くの車椅子が必要となるためとても感謝しています。



急傾斜地崩壊対策工事

施設裏山の急傾斜地の工事が3月で終了しました。これで土砂災害からの回避ができ安心していきます。



事業継続計画

自然災害、感染症などの発生時に、業務が継続できるようマニュアルを作成しました。水、食料の備蓄は2日分準備しています。



避難訓練

年に2回訓練を行います。消火活動や、避難誘導のルート確認などを行います。訓練であるため落ち着いた行動ですが、職員がとるべき行動を確認していきます。



クリスマス会

入所者の方々にはサンタクロースはなじみがないようですが、プレゼントを受け取り、皆さん喜ばれていました。
メリークリスマス等の歌を歌いながら過ごしました。



餅つき大会

年のしめくりに、餅つきのイベントを行いました。
杵を持ち餅つきができる入所者様は数名でしたが、昔を思い出され大きな掛け声で「よいしょ・よいしょ」と盛り上げてくださいました。



書初め

お正月に書初めをされました。
久しぶりに持つ筆に戸惑いながら、自由に熟語を真剣に書かれていました。



節分の会

赤鬼、青鬼と一諸に豆まきとボール投げをして邪気を払い、今年一年が幸せな年になるようにいのりました。
ボール投げは、入所者様も力いっぱい投げ合いました。



雛祭りの会

8段飾りのひな人形の前で、お誕生日もお祝いしてもらいました。
お雛祭りは、女の子の節句です。
すぐそこの春の訪れを感じ、甘酒で乾杯をしました。
甘酒を飲むのは久しぶりだったので、皆さんおかわりされました。



綿菓子

祭り気分ではいろいろな色の綿菓子を作りました。
懐かしさと甘くて食べやすい綿菓子を何本も食べられました。



かき氷

色々な色のかき氷を準備しました。
四季を感じていただこうと、夏にふさわしいかき氷を提供しました。



色々な行事食

毎月誕生日メニューや、行事の豪華なメニューを提供しています。お寿司、お弁当など満足していただけるよう日清医療食品と協力し提供いたします。



安来節保存会来園

安来節保存会は全国に 59 支部あり、家元は女性と決められており、現在 4 代目の「渡部お糸」様だそうです。

資格は、階級が 11 階級あり、名人・准名人・大師範・師範・熟年師範 (70 歳以上)・准師範・三段・二段・初段・1 級・2 級・3 級です。

今回来園された方々は、大師範、師範、準師範の階級の方であり、歌や踊り、三味線等で職員も楽しませていただきました。



令和5年度 特別養護老人ホーム大仙園 従来型・ユニット型職員研修年間報告

職員研修の目標

1. 介護の知識・技術を習得し、介護人材としての質的向上を目指す。
2. 感染症対策・安全配慮・認知症ケア等について重点的に知識・技術を高める。

月	研修項目	研修内容	担当者	発表者
4月	【事故防止①】介護リスクマネジメント 事故防止に対する意識を高める為の取り組み (KYT)	・ヒヤリ・ハット、事故の報告をし、事故防止を最大限に予防するための対策を実施する。 ・事故、ヒヤリハットのカンファレンスが役立っているか？を検討し事故防止に繋げる。	小西副主任	橋本(和)
5月	【感染対策①】・標準予防策と感染経路別予防策の手順 感染症対応のシミュレーション	・感染予防策の知識を収得し、個々が警鐘、喚起することで利用者、職員の感染予防に努める。 ・感染が発症したことを想定し対応シミュレーションをし、入所者への適切なサービス提供を行う。	介護長	藤井
6月	【感染対策②】・食中毒の予防について ・各種感染症について	・食中毒の予防法について学ぶ。(ウイルス、細菌を持ち込まない、広げない、増やさない)	本田主任	伊東
7月	従来型のコロナ感染症のため緊急対応の研修会は中止			
8月	【身体拘束適正化・虐待防止①】 身体拘束・虐待が起らない職場環境づくり	・自身が知らないうちに虐待行為をしているかもしれない？虐待防止法を理解し、虐待が起らない職場づくりをする。	野村副主任	湊
9月	【身体拘束適正化・虐待防止②】	・何故身体拘束をするのか？何故虐待をするのか？介護者の心理的変化の理解を学ぶ。	田澤副主任	古井
10月	コミュニケーションロボットを使用し楽しく訓練をする実際の報告 職員の腰痛予防ができる運動	・日頃から機能(残存能力)維持を目的に訓練を加えた支援をすることの必要性について学習する。 ・腰痛を予防する介助方法や、予防の運動について学ぶ。	飯田副主任	飯田副主任
11月	【褥瘡対策】 褥瘡をゼロにするためのポジショニング	・耐圧分散マットの選択方法を理解し、予防策を実行する事で褥瘡ゼロを目指す。	小西副主任	小西副主任
12月	②認知症ケアについて	・認知症の方への対応について学び、利用者様の立場に立ったケアについて考える。 ・認知症の方への関わり方について実践的な学習を行う。	高田主任	森下
1月	感染症発生時の対応について	・感染症の発生時の対応と反省点、今後の取り組みのついて職員間で討議する。	伊藤	伊藤
2月	【看取り介護】 エンゼルケアの実践	・看取り介護が増加する中で、当施設が目指す看取り介護について学ぶ。	介護長	伊藤
3月	プライバイシーの体面についての知識と実践 口腔ケアの重要性	・プライバイシーの保護を重視した排泄援助や入浴、行為の方法を習得する。 ・口腔ケアを継続することで、肺炎をはじめ様々な疾患の予防になることの重要性について学ぶ。	小西副主任	小林 津郷

※研修会発表者は起案書を作成し、報告書を7日以内に提出する。

※研修会発表者は参考資料を担当者に手渡し内容確認をしても、研修議題の担当主任、副主任は発表者のサポートを行う。

令和5年度 特別養護老人ホーム大仙園・ユニット型大仙園 年間行事報告

行事の目的

1. 季節の催しを行うことで利用者の皆さまに季節を感じてもらい、充実した施設での生活を送って頂けるよう支援する。
2. 行事を通じて家族や地域の方々との交流を図り、利用者の皆さまが楽しく施設での生活を過ごして頂く

月	行事	行事内容	その他
4月	お花見の会 誕生日会	園内の桜やつつじを鑑賞していただき、夏食にはお花見弁当を提供する。(4/5) 園内にもさくらを飾り奉らしさを感じていただく。甘酒を飲んでいただく。	端午の節句 鯉のぼり飾りを行う 園たより発行
5月	5/9のアイスクリームの日の記念 におやつにアイスクリームを提供 誕生日会	いろいろな種類のアイスクリームをお楽しんでもいただく(5/9)	端午の節句
6月	庭園散策	園内のバラや紫陽花、新緑のすみじを鑑賞して楽しんでいただく。(6/2)	消防設備等定期点検 避難訓練 貯水槽清掃消毒作業 水質検査(27項目) 職員履修検査 夜勤業務者健康診断
7月	七夕祭りの会 誕生日会	願い事を短冊に書き、短冊を笹に飾り付ける。(7/7)	七夕の節句 笹の飾りつけ 園たより発行
8月	追弔法要(中止) 誕生日会 スイカ割	これまで施設をご利用頂いた皆さまを思い、利用者の皆さまにはお盆の供養が出来るように支援する。 スイカ割を行い夏を感じていただく。	
9月	敬老会 誕生日会	高齢者の方々に敬意を持って長寿をお祝する会を開催し、記念品贈呈を行う。	水質検査(51項目)
10月	行楽弁当提供 誕生日会	紅葉狩りをイメージし、秋の食材を使用した行楽弁当を提供し楽しく食べていただく。	ストレスチェック実施 園たより発行
11月	誕生日会		インフルエンザ予防接種(利用者・職員) 職員健診
12月	クリスマス会 餅つき 誕生日会	クリスマスの曲を利用者と一緒に歌ったり、サンタクロースがプレゼントを配る。門松を舞台に飾る。(12/24) 一年の締めくくりと正月準備のため、広間にて餅つきを披露する、お餅に代わるおやつを召し上がって頂く。	忘年会 消防用設備等定期点検 水質検査(27項目) 正月の準備(門松飾り 12月26、27日) 職員履修検査
1月	新年を祝う会(中止) 誕生日会	元旦にはお神酒をふるまい、新年を祝う。・・・新型コロナウイルス感染症発生によりお祝い会は中止。	園たより発行
2月	節分の会 誕生日会	今年一年の無病息災を願い、豆まきをすることで季節を感じて頂く。	ひな壇飾り 事業計画(案)作成
3月	ひな祭りの会 お彼岸	ひな人形を利用者に鑑賞して頂きながら、ひな祭りまつわる話を聞いて頂く会を設ける。 お彼岸の日にはおはぎを提供する。	事業報告まとめ(各委員会データ、部門別) 水質検査(27項目)

その地行事

- ・お誕生日のお祝い(毎月)
- ・入所者の皆さまの誕生日月に、職員と入居者の皆さまとお誕生を祝う会を開催します。
- ・入所者の皆様に誕生日プレゼントをお渡しし喜んでいただく。

各種委員会

- ・感染予防対策委員会(3ヵ月/毎)
- ・事故防止検討委員会(3ヵ月/毎)
- ・身体的拘束等適正化委員会(3ヵ月/毎)
- ・虐待防止委員会(3ヶ月/毎)
- ・医療的ケア安全委員会(3ヵ月/毎)

各種会議

- ・特養運営会議(毎月)
- ・給食会議(毎月)
- ・特養入所会議(毎月)
- ・職員研修会(毎月)

施設内清掃

清掃作業(不ニビルサービスマックス掛け) 2回/年

※感染症発生時には計画を中止することがあります。